

旭電化工業(株)尾久工場跡地

土壤処理工事

完了報告書

発注者 旭電化工業株式会社

施工者 株式会社 間 組

	頁
§ 7. 竣 工 図	18
封じ込め槽構造図	19
明示シート・排水管布設図	20
遮水シート布設図	21
連続地中壁エレメント割付図	22
連続地中壁工配筋図 (1)	23
連続地中壁工配筋図 (2)	24
連続地中壁工配筋図 (3)	25
水銀 $100^{mg}/kg$ 以上の汚染土封込め位置図	26
提出書類一覧表	27~28
以下提出書類	

2. 工 事 概 要 (処 理 方 法)

- 1) 水銀含有量 2 mg/kg 以上の土壌及び鉛含有量 300 mg/kg 以上の土壌は掘削の上、コンクリート地中壁を用いた封じ込め槽へ封じ込め、上部に遮水シートを敷設し、覆土 (1.2 m 以上) しました。
- 2) 水銀含有量 10 mg/kg 以上の土壌については、前処理として所定の薬剤による不溶化処理を行ないました。
- 3) 封じ込め場所は跡地北東の公園用地 (アデカジャンゴルフ跡地) とし、掘削した汚染度と封じ込め場所の非汚染土を入替える工法としました。
- 4) 汚染土掘削時に生ずる地下水、又場内にたまった雨水は、排水プラントにて凝集沈澱処理をし、放流基準値以下にて放流しました。又、スラッジは汚染土と同様に封じ込め処理しました。
- 5) 封じ込め完了後、明示シート、排水管を覆土中 (50 cm 下) に設置し、封込槽の位置を示す境界杭を設置しました。又封込槽の外側 5 m の位置に、東西南北 4 箇所の観測井戸を設けました。

2. 汚染土封込

各汚染ブロック毎に所定の深さを掘削し、掘削盛の土をサンプリングし、測定結果により汚染されていると判断された時はさらに掘削し、再度サンプリングにより2 ppm以下(水銀)になった所で掘削完了とした。その結果当初の計画よりも深くなったブロックを表にします。(Table 2)

汚染土封込実績土壌量をまとめると下表になる。

Table 1 汚染土封込実績土量

汚染土	計画量	実績量
水銀前処理不要土 (2-9 ppm)	22,282 m ³	11,589
水銀前処理土 (10-100 ppm)	27,616	37,425
(100以上)	4,786	20,151
水銀汚染土小計	54,584	69,165
鉛汚染土	6,982	6,982
合 計	61,566	76,147

施工計画では当初水銀汚染土量54,500m³ 鉛汚染土量7,000m³ で水銀に關しては掘削量を割増し、68,000m³ 鉛7,000m³ と合わせて計75,000m³を予定したが、実績は76,147m³であった。

3. 土 工 事

1. 封込槽の掘削

計画通り法勾配2割深さ6m土量93,900m³掘削しました。掘削土は28,000m³を場内に仮置し、汚染土封込部分をつくり、以後の封込槽掘削土は掘削汚染地の延長し土へ流用しました。

又封込槽掘削時に出てきた障害物はジャイアントブローカーにて解体し、汚染土と共に封込めました。

掘削はバックホーにて2段掘りとなりました。

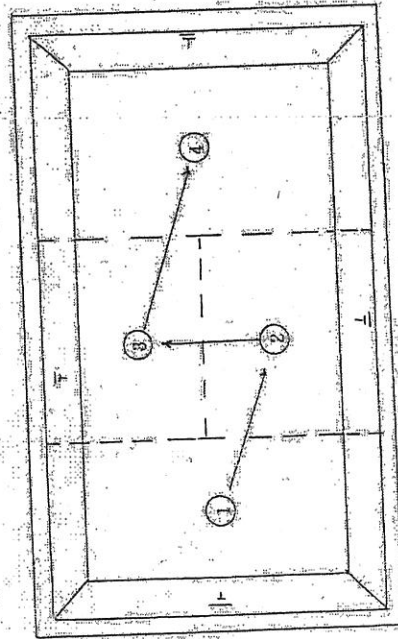


図 封込槽掘削進行図

Table 2 汚染ブロック掘削深度(変更箇所)

ブロック番号	計画深度	実績深度
№ 31	0.25 ^m	0.50 ^m (一部)
33	0.25	0.50(一部)
74	3.50	5.50
75	0.25~0.75	0.75
82	0.25~0.75	0.75
84	3.50	4.00(一部)
87	3.00	1.00~3.50
89	0.25	0.45
90	0.25	0.45
91	0.75	1.00
92	0.25	0.50
94	0.25	0.50
103	0.25	0.75
104	0.25	0.50
105	0.75	1.25
109	0.75	0.95
116	0.25	0.50
126	0.75	1.00
127	0.25	0.50
187	0.25~0.75	0.75
507	0.25	0.45
516	0.75~1.50	0.75~2.00(一部)
518	0.25	0.50(一部)
539	0.75	1.00
541	2.75	4.00
542	1.50	2.00
545	0.25	0.50
計		

3. 蔬菜生产区图

